

令和8年度ナンバーワンスクール&ステップアップスクール

櫛生小学校

ナンバーワン・スクール	領域	道徳教育・人権教育
	主題 (副主題)	つながり学ぼう ふるさと大好き ナンバーワン -みんなの幸せを、みんながつくる-
	主題設定の理由	<p>本校が位置する三好市西祖谷山村には、「かずら橋」や「神代踊」をはじめ、豊かな自然や全国に誇れる文化・歴史が数多く息づいている。昨年度は、これらの地域資源を核とした「ふるさと学習」を展開し、多様な交流や体験活動を通して、児童の郷土に対する誇りや愛着を育んできた。その過程で、地域の人々との関わりを軸に、学びを自分事として捉える児童の姿が着実に現れ始めている。</p> <p>今年度はこれらの成果をさらに発展させ、地域素材を活かした「探究的な学び」を推進する。単なる体験活動に留めるのではなく、地域の良さや課題に対して自ら問いを立て、多角的に考え、表現する力の充実を図る。その際、人権教育の視点を包摂し、多様な人々や文化との出会いを通じて、互いの違いを尊重し認め合う態度の育成を目指す。こうした地域との重層的な連携が、学びの広がりや深まりを創出するものと確信している。</p> <p>さらに、本校が大切にしている「『楽』しく『生』きる」という視点は、OECDが提唱する「ラーニング・コンパス2030」のウェルビーイングの概念とも共鳴するものである。地域に根ざした学びを通じ、子ども一人一人が自分らしく生きる力を育むとともに、自他の幸せを共に考え、行動できる資質・能力を育成したい。</p> <p>以上のことから、「ふるさとに学ぶ」「誇りと愛着を育む」「多様性と尊重」を三本の柱に据え、「地域の中で学び、みんなの幸せをみんながつくる」教育活動を推進するため、本主題を設定した。</p>
ステップアップ・スクール	領域	知育 徳育 体育 その他 ()
	主題 (副主題)	日常の中で、幸せにつながる力を育てる取組 -Happyの種の活動を通して-
	主題設定の理由	<p>本校では、「『楽』しく『生』きる」という視点のもと、児童が他者との関わりの中で自らの成長を実感できる学びの実現を目指してきた。その基盤として、これまで「聴く力」の育成や「AARサイクル」の活用、対話的な学びの定着を図ってきた。</p> <p>今年度は、これらの取組を確かな資質・能力として日常の中に根付かせ、児童が自然に発揮できる状態へと高めていくことを重視する。そのため、「具体化・徹底化・継続化」をキーワードに掲げ、一連の取組を「Happyの種」という活動として再構成し、生活や学習のあらゆる場面で実践していく。</p> <p>具体的には、以下の6つの取組を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に過ごす健康の種（基本的生活習慣） ・つながりをつくるあいさつの種（あいさつ・返事） ・しっかりきくやさしさの種（聴く力） ・みんなで考える話し合いの種（クラス会議） ・つぎに生かすふりかえりの種（AARサイクル） ・自分を好きになるよさ見つけの種（いちうっこの木） <p>これらの活動を通じ、児童が人とのつながりや自己の成長を実感し、「幸せにつながる力」を育んでいく。</p> <p>また、人権教育の視点を基盤とし、互いを認め合い安心して学び合える環境を整えることで、学びの質の向上を図る。</p> <p>以上のことから、児童が日常の中で幸せを創り出す力を育てることを願い、本主題を設定した。</p>